



秋風が心地よい季節となりました。

9月は親子遠足、祖父母ふれあいディと行事が続きました。どちらも天候が心配される行事でしたが、子どもたちや参加された皆様の笑顔にあふれた楽しい時間を過ごすことができました。特に親子遠足では現地集合・解散、にわか雨などにもすぐ対応していただきましてありがとうございました。幼稚園ならではの行事をこれからも工夫しながら続けてまいりたいと思います。

### 20年ぶりの東北地区私立幼稚園教員研修大会を終えて

先月の5日、みどり幼稚園は南部会館において公開保育を行いました。1学期末から年長組さんが作っていた“みんなのまち”。小さい組さん、特にたんぽぽ組さんには内緒で作った“まち”をいよいよ南部会館でお披露目です。たんぽぽ組さんを“みんなのまち”に招待し、まちの中で子どもたちの遊びが繰り広げられました。

#### 参加された先生方の感想

- ★年齢に合わせて部分的に活動に参加し、年中児は招待してもらうと、それぞれが楽しめる活動であり、異年齢児の関わりももてて素敵だなと思いました。年長児が年少児をつれてきた時、年少児の視線をかくしながら「まだみちゃだめ！」と笑いながら言っているのが印象的でした。子どもたちのワクワクしている様子が素敵で、みているこちら側まで楽しかったです。
  - ★子どもたちが公開保育中も周りに気を取られることなく自分たちの“まち”で遊び込む姿から、子どもたちがこの活動を心から楽しんでいることが伝わってきました。
  - ★先生の声かけや子どもたちのやりとりからこれまでのストーリーが見えて私もワクワクしました。
  - ★子どもたちの笑顔がたくさん見られた保育でした。子どもたちは遊ぶ天才だと感じました。
  - ★分身があって、車があってまちがあってすごく面白かった。作ったものだけで遊べる子どもたち、ひらめきのお手伝いをする先生方がすごい！！
  - ★子どもたちの優しさや楽しさ自分たちで作った達成感、年長さんすごい！
- ※148件にも及ぶ感想質問等（付箋記入方式）が寄せられました。

たくさんの温かいメッセージをいただき、私達、教員のこれからの教育・保育への励みとなりました。

“遊びは学び”遊ぶことを追求していくうちに自然に学んでいるということを造形的な遊びを通して、発信できましたことは大きな意義があったと思っております。

保護者の皆様におかれましては、さまざまな面でご協力、ご支援そして応援してくださいましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

園長 正部家 朱美

## 保育目標(10月)

- ※ 身近な秋の自然にふれ、自然の移り変わりに興味をもち、遊びの中にとり入れながら楽しむ。  
(落ち葉や木の実遊び・木の葉の色の変化・虫とり)
- ※ 表現遊びの中で楽器遊びをしたり、鍵盤ハーモニカで簡単な曲を弾いたりする。
- ※ 運動遊びではルールのある遊びを通して、友達と遊ぶ楽しさを味わう。



### 10月の園行事

\*10月1日(木)はお弁当の日です。  
水筒もお持ちください。



| 月              | 火                           | 水                      | 木                          | 金                         | 土                 |
|----------------|-----------------------------|------------------------|----------------------------|---------------------------|-------------------|
|                |                             |                        | 1                          | 2                         | 3                 |
|                |                             |                        | お弁当の日<br>りんご狩り<br>(年中・年長組) | サッカー教室<br>(年中・年長組)        | 保育参観日<br>親子ふれあいディ |
| 5              | 6                           | 7                      | 8                          | 9                         | 10                |
| 振替休日           | PTAのつどい<br>(幼稚園にて<br>オンライン) | 施設見学<br>八戸消防署<br>(年長組) | 英語教室<br>(年中・年長組)           | カレーライス作り<br>園外保育<br>(年少組) | 休園                |
| 12             | 13                          | 14                     | 15                         | 16                        | 17                |
| スポーツの日<br>(休園) | 衣替え<br>※衣替え移行期間<br>⇒17日まで   | 体操教室<br>(年中・年長組)       | 卒園写真撮影<br>(こどものくに)         |                           | 預かり保育             |
| 19             | 20                          | 21                     | 22                         | 23                        | 24                |
|                | 七五三お宮詣<br>(年少・年中・年長)        |                        | 英語教室<br>(年中・年長組)<br>ハロウィン  | 誕生会<br>(10・11月)           | 休園                |
| 26             | 27                          | 28                     | 29                         | 30                        | 31                |
|                | 図書整理<br>(全学年)               |                        | びよちゃんクラブ<br>ハロウィン          | 大津波避難訓練                   | 預かり保育             |

※13日～17日は衣替え移行期間です。夏・冬どちらの服装でもよろしいです。



# 令和 7 年度 自己評価報告書

学校法人正栄学園 みどり幼稚園

《実施日》令和 8 年3月 17 日(火)・18 日(水)

《参加者》正部家・御子柴・齋藤・柳沢・高橋・渡部・吹切

## 1. 本園の教育目標

- ・明るく元気な子
- ・友達と仲良く遊べる子
- ・思いやりのあるやさしい子
- ・最後までやりとげる子

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

○「生活する力」「関わる力」「学びに向かう力」の3つの柱のもとに子どもの姿を踏まえた保育者の関わり・環境構成を考え、実践する。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

|   | 評価項目           | 評価 | 取り組み状況                                                                                                                                                                                                              |
|---|----------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 子どもの発想を生かす造形遊び | B  | △子どもが興味を示すものと保育者が意図的に準備したものが、必ずしも子どもが興味を示さずにいた。<br>○朝の自由遊びを盛り上げるためには、保育者の事前準備が必要で、保育者自身も製作するために材料の素材を知ったり道具の扱い方を知ることができた。<br>○クラス活動(お店屋さんごっこ、お祭りごっこなど)では、事前に子ども達との話し合いを設けてお互いに意見を出し合い、イメージを共有することができ、一緒に製作活動に取り組めた。 |
| 2 | 発達の特性に応じた運動遊び  | C  | ○長縄遊びでは、年齢に合わせて回すスピードを工夫した。<br>○鬼ごっこなどの集団遊びでは、ルールを踏まえながら年齢に応じルールを変えながら楽しめるようにしてきた。<br>△前半は、運動器具(巧技台・はしごなど)を出して遊んでいたが、後半は出して遊ぶことが少なくなった。<br>○年長組は全員、短縄を跳べるようになった。                                                    |
| 3 | 園内研修の充実        | B  | ○それぞれの研修で学んだことを発表し合い共有できた。<br>△研修した内容を保育に意図的に取り組むことがあまりできなかった。                                                                                                                                                      |

評価(A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった)

#### 4. 総合的な評価結果

| 評価       | 理由                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>B</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・造形遊びでは子ども達が何の素材を求めているのか扱いやすいもの、想像をかきたてるものはどんなものか、先を見通して準備をしていきたい。</li> <li>・一人ひとりの『作りたい気持ち』に寄り添うような環境構成や援助の仕方が難しかったため、子ども達の遊びの様子をじっくりと見つめ、どのような言葉かけや援助が必要なのか考えていきたい。</li> <li>・園内研修は、来年の東北大会に向けて、どのようなものを目指して進むか分かり始めてきた気がする。</li> <li>・年長組が短縄に取り組む様子を見て、他学年の子ども達が憧れの気持ちを持ち、興味をもって長縄や短縄に取り組めるようになった。</li> <li>・それぞれの研修で学んだことを共有することができ、充実していた。その学びを保育に生かしつなげるようにしていきたい。</li> </ul> |

#### 5. 今後取り組む課題

|   | 課題                | 具体的な取り組み方法                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|---|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 子どもの発想を生かした造形的な遊び | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎日常の遊びを通して環境設定の見直しをする。</li> <li>◎日頃の保育者の関わりや言葉かけの大切さに気付き、子ども達からの発信をきちんと受け止め、丁寧な対応を心がける。</li> <li>◎生活の中での造形的な遊びに目を向け個々の発想を生かせるような援助をする。</li> <li>◎クラスの環境について朝の打ち合わせの時に発表し合う。</li> <li>◎自由遊びの子ども様子を記録に基づいて週案の時に発表し合う。(エピソードを一人から二人ずつ)</li> </ul> |
| 2 | 発達特性に応じた運動遊び      | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎運動指針を見直し、発達特性に応じた運動遊びを工夫する。</li> <li>◎発達に応じた運動遊びを指導計画に入れる。</li> <li>◎子ども達が運動遊びを楽しめるように環境を整える。</li> <li>◎腕と足の力をつけるために、雑巾がけを行う(ホールでも)</li> </ul>                                                                                                |
| 3 | 園内研修の充実           | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎子ども達の造形的な遊びの様子など記録やエピソードを持ち寄り、週案の時に話し合うことで、保育を振りかえる習慣を身につける。</li> <li>◎リトミックや運動遊びを学び合う。</li> <li>◎保護者対応や支援が必要な子への対応の仕方について、研修会に参加したり話し合う機会をもつ。</li> </ul>                                                                                     |

令和8年4月8日(水) 学校関係者評価委員会にて

## 6. 学校関係者評価委員会の評価

- (1)発想を生かす活動で、クルームパペル久保田さんとの活動することにより、美術館での展示を家族で体験する機会を得ることができた。
- (2)先生方、職員の皆さんが笑顔でお声がけをしてくれる。子ども達を大事にしてくれていることが伝わる。先生が子ども達、それぞれのペースに合わせていて、一人ひとりをみて、全員が育つように接している。
- (3)保護者として一年過ごせて楽しかった。一年を通して、子どもが成長したと感じた。何かをつくることも楽しめるようになった。
- (4)発想力の豊かさなど、これまでの積み重ねできっとよい東北大会の公開保育ができると思う。
- (5)子どもの気持ちに寄り添い、子どもたちにやる気を起こさせている様子を何度も見ることもできた。また、これからの時代に必要な教育はどんなものか幼稚園として発信していくことは必要であると思う。
- (6)先生方の笑顔でいつでも誰でも受け入れている感じに好感がもてる。子どもたちと先生との信頼関係もある。その子に合わせて、せかさずに待っている姿は子どもにとっては信じてもらっている安心感をもてる。